

「緑と健康で豊かな文化都市」の実現をめざして

第3次総合振興計画（基本構想・前期基本計画）がスタート

さまざまな施策を実施してきた第2次総合振興計画は、平成12年度で終了しましたが、引き続き市民生活の利便性の向上や産業活動の活性化などに取り組むため、計画期間を平成13年度～27年度に定めた第3次総合振興計画を新たに策定しました。策定にあたっては、本市を取り巻く経済社会状況を的確に把握するとともに、市民意識調査やまちづくり懇談会などを通じて、市民の皆様のご意見やご要望をお聴きし計画に反映させ、このうち基本構想については、市議会の議決を経て決定したところです。

今後は、この計画に基づき、将来像である「緑と健康で豊かな文化都市」の実現に向けて、鋭意取り組んでまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



計画の策定にあたっての課題

1 環境問題への総合的な対応

入間川の水辺や市南部の平地林に代表される水と緑の自然環境の保全
ごみの減量化とリサイクル、省エネルギー化や自然エネルギーの活用などによる資源の有効利用と環境への負荷の軽減

実などによる新たな居住や産業立地の促進

4 活力のある地域産業の振興

既存の工業集積を背景とした新たな産業拠点の形成や新成長分野産業の育成

2 少子高齢化への対応

保育サービスの充実など、育児と仕事の両立ができるような支援体制の充実

消費者ニーズへの的確な対応や、まちづくり事業との連携による商業活動の活性化
消費者との結びつきを深めた近代的で魅力のある農業経営の育成

高齢者が住み慣れた地域のなかで安心して暮らしていけるような環境づくり

5 高度情報化と国際化への対応

地域情報化の推進による市民生活の利便性の向上や情報発信機能の強化

高齢者が健康で生きがいを持って積極的に社会参加できるような仕組みづくり

市民レベルでの都市間交流の拡充や地域の外国人との交流による国際理解の促進

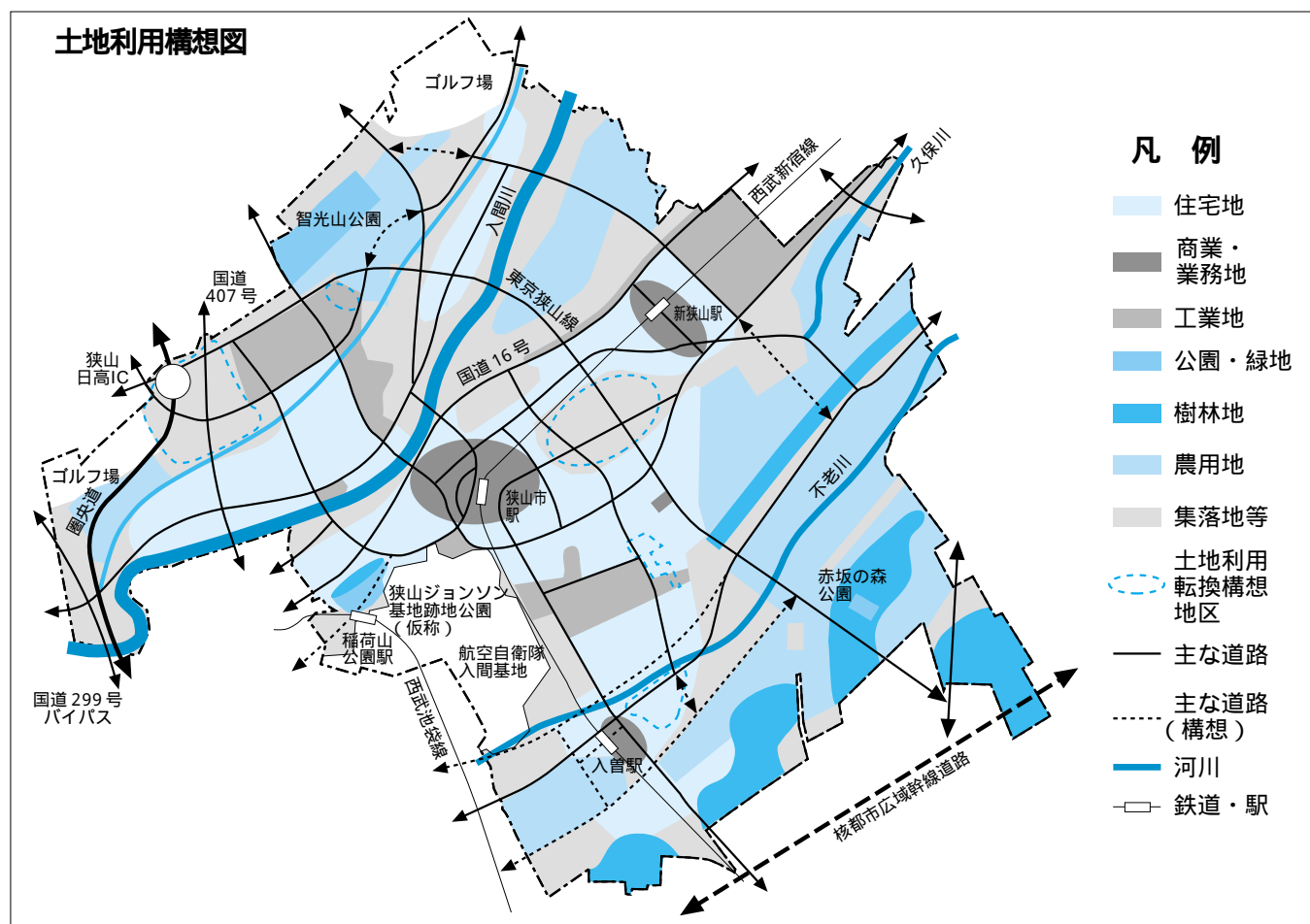
3 都市機能の充実と定住化の促進による自立性の向上

狭山市駅をはじめとする駅周辺地区における各種都市機能の整備とまちの拠点性の向上

6 狭山らしさの創造

本市のイメージアップやアイデンティティの確立とこれらを活かした個性豊かなまちづくりの推進

新市街地の形成や道路交通網の充



基本構想の概要（計画期間・平成13～27年度）

まちづくりの基本理念

市民一人ひとりが、愛着を持って
快適に暮らせる、活力と魅力のある
自立性に富んだ20万都市を目指して、
次の基本理念に基づき、まちづくり
に取り組んでいきます。

環境と共生する、環境にやさしい
資源循環型のまちづくり

ともに支え合い、だれもが元気で
安心して暮らせるまちづくり

快適で魅力のある生活空間や活力のある産業が創出する自立性の高いまちづくり

入間川に人が集い、まちの拠点が
ネットワークするまちづくり
市民とのパートナーシップに培わ
れたまちづくり

将来像

「緑と健康で豊かな文化都市」

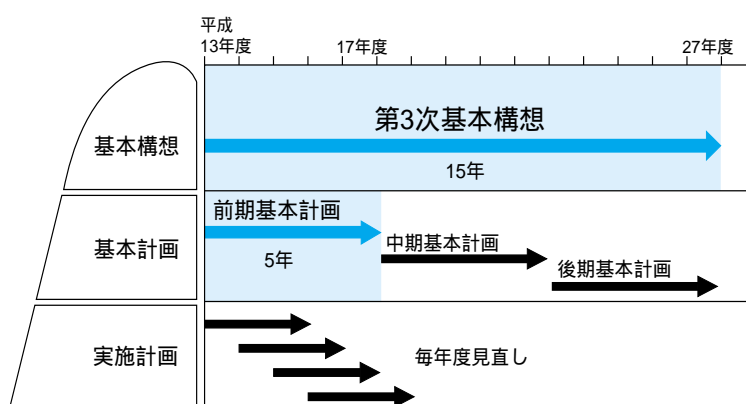
将来人口

本構想の目標年次である平成27年度(2015年度)の将来人口をおおむね19万人と想定します。

土地利用構想（土地利用の方針）

緑豊かな自然環境を次世代へ継承していくため、緑地などの保全を優先するなかで、これと共生する土地

第3次狹山市総合振興計画の構成



利用を図ります

農業の振興や都市のオーブンスペ
ースの確保などを図るため、優良な
農地の保全を優先するなかで、これ
と調和する土地利用を図ります

子どもから高齢者まで、だれもが愛着を持つて住み続けられる安全で快適な住環境の形成に向けて、市街地の整備改善を進める土地利用を図ります

新たな居住の創出に向けて、一体